

●アンケート集計

- ・実施時期 令和7年7月～令和7年11月
- ・参加者数 247名（保護者、地域住民、その他）
- ・提言書への賛同状況

校区		賛同する	賛同しない	どちらとも言えない	合計
1	須木	4	6	9	19
2	幸ヶ丘	9	0	0	9
3	西小林	13	0	3	16
4	永久津	7	0	2	9
5	東方	8	0	1	9
6	細野	7	0	4	11
7	野尻	13	0	6	19
8	栗須	14	0	0	14
9	紙屋	16	2	11	29
10	三松	11	1	1	13
11	小林	10	1	6	17
12	南	2	0	4	6
計		114	10	47	171
割合		66.7%	5.8%	27.5%	100%

●意見交換会で出された主な意見

①今後の学校の在り方に関すること

- ・今後の児童生徒の推移から行くと、分散による統合を進めるよりは市内で中学校を1つにしてはどうか。
- ・小規模校のメリットも生かせるような学校づくりをしてもらいたい。
- ・市外の中学校を選択する生徒もいるが、やっぱり小林市で学びたいという学校づくりをする必要があると思う。
- ・児童生徒数の今後の推移をみると、この統廃合は致し方ないと考える。再編にあたっては、地域の実情や歴史的背景等も考慮して、今後の検討を進めてほしい。
- ・PTAの人数も少なくなり、やりたいことができなくなっている。できれば早く統合してほしい。
- ・紙屋については、中学校だけでなく小学校も統合することを検討してほしい。
- ・部活動で人が少ないと盛り上がらないので、統合はしなくても部活は一緒にしてほしい。
- ・方向性を出す上で、今後入学する保護者の意見を一番に考えてほしい。地域の意見を集約すると方向性が変わる。
- ・高校が無償化になると、中学校から市外の私立に進む児童が増えていくと思う。選ばれる学校づくりをお願いしたい。
- ・提言書については、小学校と中学校のそれぞれの特性が考えられていてすごく話し合われた提言書だと感じた。
- ・規模が大きくなれば、教員も十分確保できているので個別の配慮ができていると思う。（支援学級等含む）
- ・学校の在り方と不登校については別問題である。学校に通えている大多数の児童生徒のことを考えて、学校の在り方を考えるべきだと思う。

②子どもたちの教育環境に関すること

- ・社会に出ていくことがゴールと考えると、よりいろんな選択肢があるとよい。
- ・保護者として、最初から大人数の学校に通っていたら違う伸びしろもあったかと思うことがある。
- ・子ども達が活気をもって学校生活を過ごすことが一番だと考えている。
- ・早い段階である程度の人数で学校生活をした方が、友達も増えるだろうし高校で適応できるのではないかと思う。
- ・中学校は、大人への第一歩であり、コミュニティを広げたり、自分で選択しないといけない時期であるので、より選択肢が増やせる環境が必要だと思う。
- ・子ども達には、いろんなことにチャレンジしてほしいので、部活動についてはやりたい活動ができるようにしてほしい。

③通学に関すること

- ・統合によって、通学距離が長くなることは、子ども達の負担になるのではないか。
- ・統合となった場合は、通学面の配慮をお願いしたい。

④地域・伝統に関すること

- ・市として人口を増やす取り組みを進めるべきではないか。
- ・学校がなくなれば地域は衰退する。小規模特認校等の制度を活用して、児童生徒を増やす取組が必要ではないか。
- ・小学校は地域性が重要で、小規模でも学校の地域に基づいて育っていくことが大切だと思う。他の中学校と統合していろいろな子どもたちと一緒に生活するのは中学校では大切だと思うし、子どもたちにもプラスになると思う。
- ・学校がなくなることで地域は必ず疲弊していくと思うので複雑な心境である。
- ・統合したとしても、伝統芸能や地域の祭りなどが継承されるような学校づくりをしてほしい。
- ・統合して友達が増えることを望んでいるが、地域が廃れることも考えられる。学校がないと、新たに住むところを探す若者にとっては、不便さを感じるとそこに住まなくなり、地域としてだんだん廃れていく可能性がある。
- ・提言書については、賛同する。地域行事を行う際は、小学校単位で行うので、いくら子どもが少なくなったとしても今後も小学校は存続してほしいと思う。
- ・学校が廃校になる場合の利活用についてもしっかり検討してほしい。

⑤学校施設に関すること

- ・小学校は施設がかなり老朽化している。改修を早急をお願いしたい。
- ・学校が多いと、その施設の維持管理に費用がかかるためある程度まとめた方がいいと思う。
- ・施設整備については、どこに優先的に予算をつけて学校整備していくか十分検討してもらいたい。

⑥不登校等の支援に関すること

- ・不登校児童生徒が多い現状で、統合によってさらに増えることが想定されるのでケアやサポートの充実を図るべきだと思う。
- ・多様な考え方に触れて、個性が出せる学習環境を整えてほしいと思うが、大規模校になじめない児童生徒の対応もきちんと考えてほしい。
- ・発達の特徴がある子どもも多くなっている実情の中、教室でない学校の中の居場所づくりを教育委員会としてもしっかりサポートしてほしい。

●児童生徒との意見交換会

令和7年10月～令和7年12月で実施

対象 小学校→5・6年生

中学校→生徒会役員

①あなたの学校について教えてください。

良いところ、困っているところについて発表

②子どもの数が減っていくと学校はどうなると思いますか。

- ・学校の授業に支障をきたしたり、運動会などの行事も盛り上がりなくなる。
- ・運動会、体育大会、文化祭、学習発表会などの行事が成立しにくくなる。
- ・集団スポーツの部活動ができなくなる。合同チームや廃部が増える。
- ・友達の数が少なくなると話し合いや意見交換ができなくなる。
- ・コミュニケーション力が低下する。色んな人との交流が少なくなる。
- ・文化の継承ができなくなり、地域が衰退する。
- ・学校が廃校になり他の学校に行くことになるかもしれない。
- ・テストなどで競争性が生まれなくなる。
- ・一学年の人数が減るので、先生が目配りができ指導が手厚くなる。
- ・中学校で交流ができていないと、高校で大変になる。
- ・クラスの人数がごくわずかになることで、友達関係が固定される。

③この提言書の内容についてどう思いますか。

楽しみなこと

- ・他の学校の知らない人と友達になり、たくさんの人と交流することができる。
- ・人数が多くなると行事が増えたり、盛り上がる。
- ・先生が増えることで色々な授業を、専門的な先生に指導してもらえる。
- ・部活動の種目が増え活発になり、人数が増えることでレベルアップにつながる。
- ・友達がたくさん増えることや、行事でたくさんの友達と交流がすることで新たな中学校の歴史ができる。
- ・いろいろな価値観、考え方の人と出会うことで、自分の視野が広がり、人として成長できそう。
- ・小学校はクラス替えがなく、中学校でクラス替えがあったが楽しかった。
- ・人数が増えることで定期テストで競争が生まれる。
- ・競い合えるライバル的存在がある方が、学習面もスポーツ面も向上する。

不安なこと

- ・運動会などの行事で一人一人の出番が少なくなる。
- ・人数が多くなると、友達ができるか不安であり、けんかやいじめが増える。
- ・学校が遠くなり、朝起きる時間が早くなってしまう。
- ・小学校からグループができていいるから、他の学校と一緒にあったときの不安がある。
- ・不登校で行けていない人が、もっと行きにくくなる。
- ・これまでのように先生に細かく見てもらえなくなる。
- ・地域性が薄れる不安がある。伝統文化の継承が出来なくなる。合同の運動会ができなくなる。
- ・新しい環境で、ついてこれる人と、ついてこれない人が出てくる。
- ・人数が多くなると自分の意見が言えなくなる。

●児童生徒アンケート(令和7年6月実施)

小学校5・6年生と中学校全員を対象として、これからの学校の役割や未来像について、アンケートを実施しました。回答状況は下記のとおりです。

小学校(5・6年生児童対象)

問. あなたは学校生活や学習の中で、下記の項目についてどのくらい大切、重要だと思いますか。

※そう思う、どちらかと言えばそう思うを選択した児童の割合

質問内容	割合(%)
学校行事では、一人一人に役割があり、みんなが活躍できる場がある	93.1
学級が少人数で、一人一人がきめ細かな指導を受けることができる	64.6
入学から卒業まで同じ児童と同じクラスで学ぶことができる	64.7
地域の方々と学校行事や体験学習をとおして交流する機会がたくさんある	76.5
たくさんの児童で運動会などの学校行事ができる	93.4
毎年、クラス替えがある	65.5
たくさんの児童の中で様々な考えにふれながら学ぶことができる	90.2
クラブ活動の種類がたくさんある	79.1
豊かな自然環境の中で学ぶことができる	90.7
上級生や下級生と一緒に学んだり交流したりする機会がたくさんある	81.2
ICTを活用した授業が充実している	85.1
いじめがなく楽しく学ぶことができる	81.7

中学校(全生徒対象)

問. あなたは学校生活や学習の中で、下記の項目についてどのくらい大切、重要だと思いますか。

※そう思う、どちらかと言えばそう思うを選択した生徒の割合

質問内容	割合(%)
学校行事では、一人一人に役割があり、みんなが活躍できる場がある	93.1
学級が少人数で、一人一人がきめ細かな指導を受けることができる	63.9
入学から卒業まで同じ生徒と同じクラスで学ぶことができる	58.9
地域の方々と学校行事や体験学習をとおして交流する機会がたくさんある	71.2
たくさんの生徒で体育大会や文化祭などの学校行事ができる	93.4
毎年、クラス替えがある	74.3
たくさんの生徒の中で様々な考えにふれながら学ぶことができる	90.0
部活動の種類がたくさんある	72.6
豊かな自然環境の中で学ぶことができる	90.0
上級生や下級生と一緒に学んだり交流したりする機会がたくさんある	69.5
ICTを活用した授業が充実している	84.9
いじめがなく楽しく学ぶことができる	85.1

今後の児童生徒の推移予測

○小学校

令和8年度

小学校 35人学級(1, 2年生30人学級)

		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
小林小	人	56	88	71	72	79	80	446
	クラス	2	3	2	2	3	3	15
南小	人	44	42	60	41	58	40	285
	クラス	2	2	2	2	2	2	12
細野小	人	31	37	29	46	38	39	220
	クラス	1	2	1	2	2	2	10
西小林小	人	19	23	20	26	21	27	136
	クラス	1	1	1	1	1	1	6
東方小	人	14	20	12	18	28	19	111
	クラス	1	1	1	1	1	1	6
永久津小	人	2	12	5	8	7	13	47
	クラス	1	1		1	1	1	5
三松小	人	59	66	78	65	72	75	415
	クラス	2	2	2	2	2	3	13
幸ヶ丘小	人	2	7	1	2	1	2	15
	クラス	1	1		1		1	4
須木小	人	2	3	4	5	5	6	25
	クラス		1		1		1	3
野尻小	人	17	19	10	17	23	24	110
	クラス	1	1	1	1	1	1	6
栗須小	人	14	16	14	14	27	23	108
	クラス	1	1	1	1	1	1	6
紙屋小	人	5	9	7	7	7	13	48
	クラス	1		1		1	1	4



令和13年度(見込み)

小学校 35人学級(1, 2年生30人学級)

		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計	増減
小林小	人	68	73	62	75	69	67	414	△32
	クラス	3	3	2	3	2	2	15	0
南小	人	26	37	33	34	34	38	202	△83
	クラス	1	2	1	1	1	2	8	△4
細野小	人	21	27	28	32	29	36	173	△47
	クラス	1	1	1	1	1	2	7	△3
西小林小	人	6	6	13	12	18	19	74	△62
	クラス	1	1	1	1	1	1	6	0
東方小	人	8	6	6	8	7	14	49	△62
	クラス	1		1		1	1	4	△2
永久津小	人	1	8	2	7	5	1	24	△23
	クラス	1		1		1	1	4	△1
三松小	人	51	43	53	73	64	68	352	△63
	クラス	2	2	2	3	2	2	13	0
幸ヶ丘小	人	0	3	4	0	0	2	9	△6
	クラス			1			1	2	△2
須木小	人	1	1	1	2	1	1	7	△18
	クラス		1		1		1	3	0
野尻小	人	4	10	8	13	9	17	61	△49
	クラス	1	1	1	1	1	1	6	0
栗須小	人	12	8	9	10	25	13	77	△31
	クラス	1	1	1	1	1	1	6	0
紙屋小	人	2	1	5	5	1	5	19	△29
	クラス		1		1		1	3	△1

○中学校

統合しない場合

令和8年度 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計
小林中	人	120	130	141	391
	クラス	4	4	4	12
細野中	人	34	36	43	113
	クラス	1	1	2	4
西小林中	人	32	31	26	89
	クラス	1	1	1	3
永久津中	人	8	11	10	29
	クラス	1	1	1	3
東方中	人	15	14	17	46
	クラス	1	1	1	3
三松中	人	79	59	89	227
	クラス	3	2	3	8
須木中	人	5	8	9	22
	クラス	1	1	1	3
野尻中	人	38	36	44	118
	クラス	1	1	2	4
紙屋中	人	8	7	14	29
	クラス	1	1	1	3

令和13年度(見込み) 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計	増減
小林中	人	133	132	118	383	△8
	クラス	4	4	4	12	0
細野中	人	40	29	47	116	3
	クラス	2	1	2	5	1
西小林中	人	25	22	27	74	△15
	クラス	1	1	1	3	0
永久津中	人	10	5	7	22	△7
	クラス	1	1	1	3	0
東方中	人	17	13	18	48	2
	クラス	1	1	1	3	0
三松中	人	72	79	69	220	△7
	クラス	3	3	2	8	0
須木中	人	2	4	5	11	△11
	クラス	1	1	1	3	0
野尻中	人	38	24	31	93	△25
	クラス	2	1	1	4	0
紙屋中	人	8	6	7	21	△8
	クラス	1	1	1	3	0

令和19年度(見込み) 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計	増減
小林中	人	94	110	95	299	△84
	クラス	3	4	3	10	△2
細野中	人	21	27	28	76	△40
	クラス	1	1	1	3	△2
西小林中	人	6	9	17	32	△42
	クラス	1	1	1	3	0
永久津中	人	1	8	2	11	△11
	クラス	1	1	1	3	0
東方中	人	8	6	6	20	△28
	クラス	1	1	1	3	0
三松中	人	51	43	53	147	△73
	クラス	2	2	2	6	△2
須木中	人	1	1	1	3	△8
	クラス	1	1	1	3	0
野尻中	人	16	18	17	51	△42
	クラス	1	1	1	3	△1
紙屋中	人	2	1	5	8	△13
	クラス	1	1	1	3	△1

統合した場合

令和8年度 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計
小林中	人	120	130	141	391
	クラス	4	4	4	12
細野中	人	34	36	43	113
	クラス	1	1	2	4
西小林中	人	32	31	26	89
	クラス	1	1	1	3
永久津中	人	8	11	10	29
	クラス	1	1	1	3
東方中	人	15	14	17	46
	クラス	1	1	1	3
三松中	人	79	59	89	227
	クラス	3	2	3	8
須木中	人	5	8	9	22
	クラス	1	1	1	3
野尻中	人	38	36	44	118
	クラス	1	1	2	4
紙屋中	人	8	7	14	29
	クラス	1	1	1	3

令和13年度(見込み) 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計	増減
小林中	人	225	201	217	643	252
	クラス	7	6	7	20	8
三松中	人	72	79	69	220	△7
	クラス	3	3	2	8	0
須木中	人	2	4	5	11	△11
	クラス	1	1	1	3	0
野尻中	人	46	30	38	114	△4
	クラス	2	1	2	5	1

令和19年度(見込み) 中学校 35人学級

		1学年	2学年	3学年	合計	増減
小林中	人	130	160	148	438	△205
	クラス	4	5	5	14	△6
三松中	人	51	43	53	147	△73
	クラス	2	2	2	6	△2
須木中	人	1	1	1	3	△8
	クラス	1	1	1	3	0
野尻中	人	18	19	22	59	△55
	クラス	1	1	1	3	△2